

1. 「第2次長岡市自殺対策計画の体系」について

該当施策	意見・質問抜粋	所属名	長岡市健康増進課回答
基本施策1 地域におけるネットワークの強化 (1) 自殺防止に向けた ネットワークの推進	ネットワーク化の参考例として柏崎保健所の地域職域連携の取組みとして進めている「職場の元気応援隊～働く世代の健康づくりを応援します～」を紹介しませす。	長岡労働 基準監督署	長岡労働基準監督署寺嶋委員よりご紹介をお願いします。
基本施策1 地域におけるネットワークの強化 (2) 包括的な相談支援体制の充実	相談対応を行っている機関においては、特に若年層からの相談を念頭に LINE などSNSを活用していると聞いたことがありますが、その有効性などについてご教示願います。	長岡労働 基準監督署	若年層は、自発的に相談や支援につながりにくい傾向がある一方で、インターネットやSNS上で自殺をほのめかしたりする傾向もあると言われていています。若者が日常的なコミュニケーション手段として利用するSNSを使った相談は、簡単にアクセスできるため、相談しやすく、心理的な匿名性が高いため、「死にたい」等の気持ちを自己開示しやすいとも言われています。厚生労働省が実施しているSNSを活用した相談事業（5団体で実施）の令和3年度の実績を見ますと、相談延べ件数は、259,814件、年齢別では、19歳以下及び20歳代を合わせて全体の約7割弱を占めているという報告があることから、SNSによる相談は、若年層にとつてハードルが低く、身近で有効な相談ツールであることが言えると考えます。
基本施策2 自殺対策を支える人材の育成 (1) 一般市民に対するゲート キーパー研修の実施と周知	ゲートキーパー研修の周知を職域（企業）に対して周知することは、ゲートキーパー制度の性格上、可能でしょうか？当署では年に1回、企業の衛生管理担当者等を対象としてメンタルヘルス対策の説明会を実施しております。企業の担当者に対しゲートキーパー制度の認知度を広めるため、当該説明会で資料配布を行うことは可能でしょうか？	長岡労働 基準監督署	職域層を対象としたゲートキーパー研修は、今後、市としても積極的に取り組んでいきたい取組みとなりますので、ぜひ連携させていただきたいと考えています。
基本施策3 住民への啓発と周知 重点施策1 高齢者を対象とした取組の推進 重点施策2 職域層を対象とした取組の推進	単に相談窓口を示すだけでなく、要支援者が確実に相談窓口につながる具体的な方法を示した「周知」の必要性を感じています。このことについて、何か具体的なお考えがあればご教示ください。 <input type="checkbox"/>	中越地域い のちとこ ころの支 援セン ター	ご意見のとおりだと考えております。いつもと様子が違う、希死念慮がある等、他の相談機関につながる必要があると判断した場合には、一歩踏み込んだつなぐ支援（例えばその場で関係機関に連絡する等）が必要と考えます。ゲートキーパー研修等でも「つなぐ支援」の重要性について、伝えていきたいと考えています。
基本施策2 自殺対策を支える人材の育成 基本施策3 住民への啓発と周知	自殺予防・啓蒙活動としてGKや関係研修、講演会等を実施するとき、とくに配慮すべき課題「住民の自殺に対する考え方・認識」があると考えます。住民の中には、「自殺の話は聞きたくない」「自殺は悪いことではない、死ぬのも自由だ」「個人・家庭の問題であり、第三者が関われない、公の場で語るべきものではない」などの考え方・認識が根強く存在します。こうした考え方・認識が、時に地域活動を進める上で大きな壁になる事が少なくありません。そのため、地域活動を通して住民の自殺に対する考え方・認識を変えていくこと、つまり自殺が単に個人・家庭の問題ではなく、地域で考え取り組むべき問題を含んでいること、自殺ハイリスク者を支援し1例でも多く予防して自殺情報を少なくしていく（影響を受ける人を少なくする）ことが重要であることを合わせて伝えていく必要があると考えます。このことについて、何か具体的なお考えがあればご教示ください。	中越地域い のちとこ ころの支 援セン ター	ご意見のとおりだと考えております。地域に根強く残る自殺に対する考え方や偏見があることについては、啓発する側がよく理解し、否定的な意見への対策を考えた上で、自殺対策を地域で進める意義を正しく伝えていくことが必要と考えます。
施策全体に対して	全体的に、施策案がより具体的に示されているので、それぞれの関係機関がどのように連携できるのかすり合わせが大切になるのではと思います。	NPO法人 女のスペース ・ながお か	ご意見のとおりだと考えております。今回、第2次計画策定のために庁内ワーキングや関係機関に聞き取り調査を行う中で、課題を共有し、お互いの活動を理解し、顔が見える関係性を作ることの大切さを実感しております。今後も関係課・関係団体の皆様と、各施策の課題の共有や意見交換等を実施しながら、連携し、協働していくことが大切と考えています。

2. 「第2次長岡市自殺対策計画推進事業」について

該当施策	意見・質問抜粋	所属名	長岡市健康増進課回答
基本施策1 地域におけるネットワークの強化	「フードバンクながおか」を追加したらどうか。 (生活困窮者支援を行っているため)	長岡大学	ご意見のとおり、「フードバンクながおか」は生活困窮者支援を行う上で、非常に大事な役割を担っていただいていることは承知しております。また、その他にも、自殺対策に関連する取組みをしている関係団体は多数ありますが、計画掲載有無の判断が現段階では明確になっておりません。自殺対策を進める上では、NPO法人等との連携協働は必要であり、第2次計画では、その旨を記述する予定でおります。
基本施策2 自殺対策を支える人材の育成	「障害者基幹相談支援センター」を追加したらどうか。 (高齢者や子どもの相談支援センターも含まれているため)	長岡大学	担当課と事業掲載について、前向きに検討したいと考えています。
基本施策2 自殺対策を支える人材の育成 基本施策6 SOSの出し方、受け止め方への支援	「市内にある専門学校や大学の学生や教職員への出前講座」を追加したらどうか。 (友人関係の悩み・教職員のゲートキーパーの役割も必要と考える)	長岡大学	若者に対する取り組みとして大事なことと考えます。ただし、事業としては、基本施策2.No22および基本施策6.No1のゲートキーパー研修、基本施策3.No9のこのころの健康講座(市政出前講座含む)に含まれる内容と考えます。今後は、専門学校や大学に対する事業のPRを積極的に進めていく必要があると考えます。
基本施策4 自殺未遂者等への支援の充実	基本施策4.No5の「トラウマカウンセリング」ですが、慎重におこなわないと相談者が再び傷つく体験になったり新たな問題が起きたりする可能性があります。トラウマに触れるよりも安全感や安心感を強めていくことのほうが良いと思います。文中にあるようにレジリエンスを高めることを前面に出すほうが安全と思われます。	新潟県 臨床心理士 会	NPO法人女のスペース・ながおか田中委員より、事業について補足説明をお願いします。
重点施策2 職域層を対象とした取組の推進	当法人が提出した事業内容「トラウマカウンセリング」の重点施策の対象が資料2の表では、「職域層」となっていますが、職域層に限った事業ということではありません。対象者を限定していないことをお伝えしておきたいと思っております。	NPO法人 女のスペース・なが おか	対象を限定していない事業であることを承知しました。重点施策2「職域層」を対象とした取組事業からは抜かせていただきました。
重点施策2 職域層を対象とした取組の推進 (1) 職域層の相談体制の整備	①いじめ、嫌がらせ、パワハラに対する相談窓口として、当署内に設置されている総合労働相談コーナー及び個別労働紛争援助事業についての周知をお願いしたい。 ②併せて、職域におけるメンタルヘルス対策の体制整備及び相談窓口として、新潟産業保健総合支援センターの周知もお願いしたい。	長岡労働 基準監督署	長岡労働基準監督署寺嶋委員よりご紹介をお願いします。
重点施策2 職域層を対象とした取組の推進	職域層に対する取り組みがやや弱いと思いました。保健所、労働基準監督署、商工会議所等と連携して、企業の衛生管理者等を対象として、ゲートキーパー研修等は実施できないでしょうか？	青森県立 保健大学	今年度は、保健所および中越地域のちとこのころの支援センターの職員と協働し、金融機関や商工会議所等への聞き取りを一緒に行い、課題を共有し今後の取組み方針を検討しております。今後は、産業労働の関係機関と連携し、実態把握を行いながら、戦略的にゲートキーパー研修等の実施を進めていきたいと考えています。
全体に関すること	計画の一覧に「新規」「拡充」「継続」「統廃合」など前次と比較できる欄があると見やすくなると感じます。	新潟青陵大 学	第2次計画に「新規」に盛り込まれた事業については、資料2の各ページの左2,3列目に○印を入れています。それ以外の○印がない事業は、第1次計画からの継続事業となります。「拡充」については、事業調査の段階で確認していないため、掲載ができません。「統廃合事業」については、資料の見やすさを考慮して掲載しないことといたしました。
全体に関すること	各部門の役割を明確化することは望ましい一方、縦割り・分業化の促進にもなるので、組織全体の連携促進も重視して頂きたいと思っております。	新潟県弁護 士会	ご意見のとおりだと思います。自殺対策は、様々な要因に関する課題の解決に関係する機関が連携し、それぞれ行っている事業を連動させて実施していくことが必要と考えています。毎年開催している自殺対策協議会および自殺対策連携会議等を通して、関係課・関係団体の皆様から組織連携の必要性についてご理解いただくよう努めていきたいと考えています。

3. 「第2次長岡市自殺対策計画の評価指標」

該当施策	意見・質問抜粋	所属名	長岡市健康増進課回答
<p>基本施策2 自殺対策を支える人材の育成 基本施策3 住民への啓発と周知</p>	<p>ゲートキーパーや相談窓口の周知の数値目標は、数年に1度の割合で市民向けアンケート項目に含め測定したり、バイアスはありませんが、各種講演会・研修会の受講者アンケート項目に含めて測定することが望ましいと感じます。</p>	<p>新潟青陵大学</p>	<p>ご意見のとおり、「自殺総合対策大綱」では、国民の3人に1人以上がゲートキーパーについて聞いたことがあるようにすることを旨とあり、その認知度を把握することは望ましいと認識しておりますが、現時点では市民向けアンケートの実施は考えておりません。各種講演会・研修会等で受講者アンケートを実施する中で、市民の声を拾い、施策に反映させていきたいと考えております。</p>
<p>重点施策3 子ども・若者を対象とした取組の推進</p>	<p>評価指標「子ども・若者の相談体制について検討する場の設置」が、若干分りにくいと感じるので、もう少し詳しい説明があると良いと思いました。もしくは会議において説明していただけるとありがたいです。</p>	<p>NPO法人 女のスペース・ながおか</p>	<p>高校中退者や高校卒業後から専門学校生・大学生等も含めた20歳代の若者の相談体制が充実していない現状が第1次計画策定時からの課題となっています。医療や教育機関・相談機関との連携体制を推進することができるよう検討する場を持ち、体制整備を図っていききたいと考えております。同時に、居場所や保護者等への支援体制等についても検討し、評価していきたいと考えております。</p>
<p>全体に関すること</p>	<p>自殺対策施策は複雑な事業で、正確な数値化も困難だと思います。数値に縛られず、総合的な判断をする機関を設け、全体を舵取りしてもらった方がいいと思います。</p>	<p>新潟県弁護士会</p>	<p>長岡市自殺対策協議会実施要領の「第1条 本市は、誰もが「生きることの包括的な支援」としての自殺対策に関する支援を受けられるよう長岡市自殺対策計画を策定し、自殺対策に関わる各分野の代表者等と意見交換を行い、連携を強化しながら、自殺対策を総合的に進めるため、長岡市自殺対策協議会（以下「協議会」という。）を設置する。」とあります。左記記載については、皆様が委員を務めておられる長岡市自殺対策協議会にその役割を期待するものです。</p>
<p>全体に関すること</p>	<p>プロセス評価について教えてください。各施策の柱を達成するために取り組むより具体的内容やその進捗状況という事でしょうか？</p>	<p>中越地域の のちとこ ろの支援 センター</p>	<p>ご意見のとおりです。例えば、基本施策1の評価指標として設定した「職域層の相談体制について検討する場の設置」について、この評価指標の達成に向けて、各年度の具体的な取組みについて、進捗状況を示していくというような手法で評価したいと考えております。</p>

